

# 長良九条の会だより

NO126  
2017年  
7月号  
事務局 林  
090-6769  
—9809



## 7月9日72年前の岐阜空襲の日亡くなられた

### 多くの方々の死を悼み、平和の鐘をつきました。

長良東 真福寺では、御住職が9時きっかりに鐘をつかれました。続いて近所の人も。本堂の前には、戦没者を慰霊する焼香の用意がしてありました。真竜寺では、鐘の下で御住職が待っていてくださり、鐘つきの後「仏教は、戦争を許す宗教ではありません。再び戦争のないよう声を挙げていきましょう。」と、話されました。それから、御住職の祖父が戦時中に軍の無謀な要求に応えなかったので、憲兵に連れて行かれた話を聞きました。この話は後日、ゆっくりとお聞きしたいと思います。

聖イエス会岐阜教会では、今年、ちょうど日曜日に当たりオープン礼拝は「平和の鐘をたからかに」でした。その後、信者の方たちと一緒に牧師さんの話を聞きました。「岐阜空襲の800人以上の犠牲者を悼み、この日だけ鐘を鳴らします。平和は一人ひとりの心の中から」など……。それから鐘を鳴らしました。お寺の鐘とは一味違うものでした。

長良西校区 妙徳寺と崇福寺二か所で行かせていただきました。妙徳寺では御住職が初めにつかれて、そのあと、8人の参加者が3つずつ。今年若者一人も来ていただきました。崇福寺の御住職は実父と養父の戦争体験を話され、共謀罪が成立した今、同じ過ちを繰り返さぬため、1票の大切さを語られました。

長良校区 私(林)は8時、覚願寺・9時、真性寺・9時15分、専法寺・10時、専応寺と四か所を回りました。覚願寺は和尚さんが20回以上つかれ、辺りに鐘の音が鳴り響いていました。8月6日と9日も原爆投下の時間に合わせてつかれるそうです。真性寺や専応寺では子どもたちや先生も参加されました。

#### 前回の訂正

6月号 長野良一さんの「教育勅語について思うこと」 自戒↓自我に訂正してお詫びします。

#### 平和の鐘と戦争体験

専応寺では、お年寄りが、空襲の様子、戦争の毎日を、生々しく語られました。

当時子どもだった自分達こそが、戦争の怖さを伝えられること。又伝えねばという言葉が印象的。学校の先生と子どもも参加。(林)



戦争体験を生々しく (専応寺)

カンパの6月末現在  
46名の方から、累計12万5千7百50円頂いています。ありがとうございます。

## みんなの広場

中日新聞投稿より

(2017年5月26日)

鈴木 結衣 (14歳 中学生)

テレビや新聞などでよくイスラム国 (IS) の言葉を見聞します。

なぜISができたのでしょうか？調べると戦争のせいだと分かりました。戦争は単に兵士や市民の命を奪い、国土を破壊するだけではありません。戦いが終わったとしても、その後大きな禍根を残します。アフガニスタン戦争で追い詰められた人が中心になってISができたのです。そして現在ISにより、新たな悲劇があちこちに生まれています。

私が今回調べて感じたことは、戦争などのつらい経験によって、行き場を失い、深い闇の中に入り込んでしまう人たちがいるということです。その闇の中からできたISは簡単になくなることはないでしょう。

でも、ISと他の国や地域との格差を少しずつでもなくしていければ時間はかかるかもしれませんが闇は取り除かれると私は思っています。

七月九日 「岐阜空襲の日」にあたって

「私の戦争体験」

長良西在住 飯尾 修

東京が空爆されるようになり、学童の集団疎開が企画された。私は当時、小学校五年生で、山の手の住宅街に母と姉の三人で暮らしていましたから当然これに参加しました。

寄宿先は茨城県真壁郡氏下館町周辺で、一学級程度収容ができる施設でした。私の学級はお寺でした。本堂で雑魚寝です。授業は近くの小学校に通いました。鹿島浦方面から侵入する、米機に迎撃する日本機はなく、高射砲が二・三発破裂するのが見えるだけで悲憤慷慨した軍国少年でした。

翌年昭和二十年三月の東京大空襲に堪らず母は岐阜への疎開を決めました。(※) その岐阜市で空襲に遭ったのは皮肉でした。その七月九日夜半、警報からしばらくして、国鉄岐阜駅を中心に円を描くように周辺が明るく見え火の手が拳がるのが分かりました。私はこの程度なら消火できると思いましたが人心は動揺し、暗い方、南の方に逃れたのです。私たちは予め用意した庭の穴に豚皮のバックを埋め、台所用品、食品などを圧力鍋(密閉できる)に入れ、湧き水の井戸に放り込み、私は大好きな「五球スーパーラジオ」を抱え、母、姉とも持ち出せる物を抱えて逃げるより仕様がなかったのです。最初は加納天満宮の防空壕、息苦しくなって壕を出て、加納鉄砲町から城南通りの北側の空地に何人かの人々と腰をおろして不安な夜を過ごしました。以上が岐阜空襲の逃避行です。途中、大きなラジオが苦痛になり、加納鉄砲町二丁目辺りの木立ちと草の繁茂した空地に隠し置いたが、後に探しても無くなっていました。豚皮のバックなど井戸に入れた物は回収できました。母は女学校時代の友人、知人が多く、素早く情報を掴み、仮寓居などの手を打ったようでした。私が今でも感嘆するのは、亡くなった人たちの状況を一切私たちに見せなかったことです。後に聞いた話では、天満宮の壕では何人か亡くなっていたと。(※) 疎開先は岐阜駅の南側、現公園の清水川の左岸、湧き水の清らかな川のほとり。

大垣空襲の前にまかれた「米軍のビラ」(1945年7月29日)

「日本国民に告ぐ」

あなたは自分の兄弟、友だちの命を助けようと思いませんか。助けたければこのビラをよく読んでください。数日の間に裏に書いてある都市のなかで4つか5つの軍事施設をアメリカ軍は爆撃します。この都市には軍事施設や軍需品を製造する工場があります。軍部がこの勝ち目のない戦争を長引かせる為に使う兵器をアメリカ軍は全部破壊します。けれども爆弾には目がありませんからどこに落ちるかわかりません。ご承知の様に人道主義のアメリカは罪のない人を傷つたくはありません、ですから裏に書いてある都市から避難してください。アメリカの敵はあなたがたではありません。あなたがたを戦争に引っ張り込んでいる軍部こそ敵です。アメリカの考えている平和というのは、ただ軍部の圧迫からあなた方を解放することです。そうすればもっと良い新日本国ができるのです。戦争を止める様な新指導者を立てて、平和を回復したらどうですか。この裏に書いてある都市で、少なくともこの裏に書いてある都市の内、必ず4つは爆撃します。予め注意しておきますから、裏に書いてある都市から避難して下さい。

※日本政府はこれらのビラをできるだけ国民の目に触れさせないようにし、1枚残らずビラの回収に努めた。

今後の予定

- \*7月19日(水) 17時30分~18時15分 名鉄岐阜駅前 十六銀行本店前 もう黙っとれんアクション
- \*7月29日(土) 10時~11時30分 北部コミセン(八代) 「岐阜市新庁舎を考える会」
- \*7月29日(土) 17時30分~18時15分 名鉄岐阜駅前 交差点 9の日街宣行動
- \*8月18日(金) 18時30分~ ワークプラザ 沖縄 山城博治さん講演
- \*9月2日(土) 13時30分~16時30分 各務原市産業文化センター あすかホール

「九条の会・岐阜県交流会・2017 in 各務原」 講師 渡辺 治「安倍改憲を阻む」

※予定変更のお知らせ

7月29日(土)の「ながら憲法カフェ」は、都合により8月26日(土)になりました。